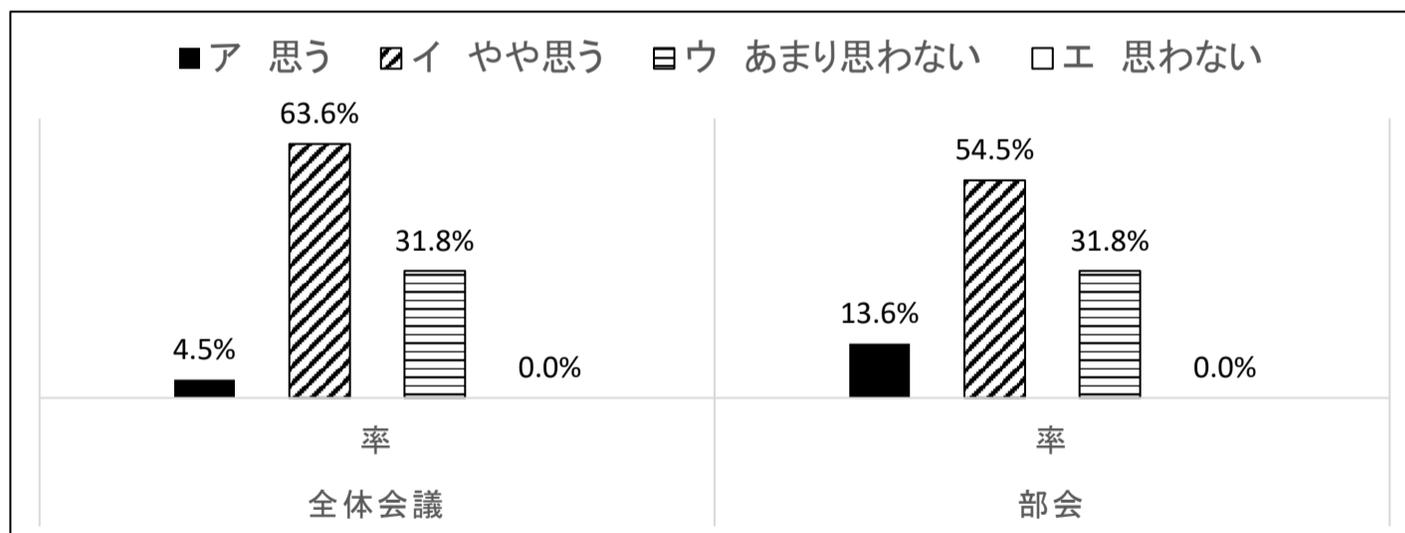


旭区区政会議に関するアンケートの集計結果について

- 実施時期：令和元年7月29日～同年8月9日
- 回答者数：22名/33名（66.7%の方から有効回答）

1. 旭区区政会議は、現在、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされていると思いますか？

選択肢	全体会議		部会	
	回答者数	率	回答者数	率
ア 思う	1	4.5%	3	13.6%
イ やや思う	14	63.6%	12	54.5%
ウ あまり思わない	7	31.8%	7	31.8%
エ 思わない	0	0.0%	0	0.0%
計	22	100.0%	22	100.0%



※ 全体会議・部会ともに、68.2%の方から肯定的意見をいただきました。

2. 旭区区政会議のより活発な意見交換に向けて、現在どのような課題があると思いますか？（複数回答可）

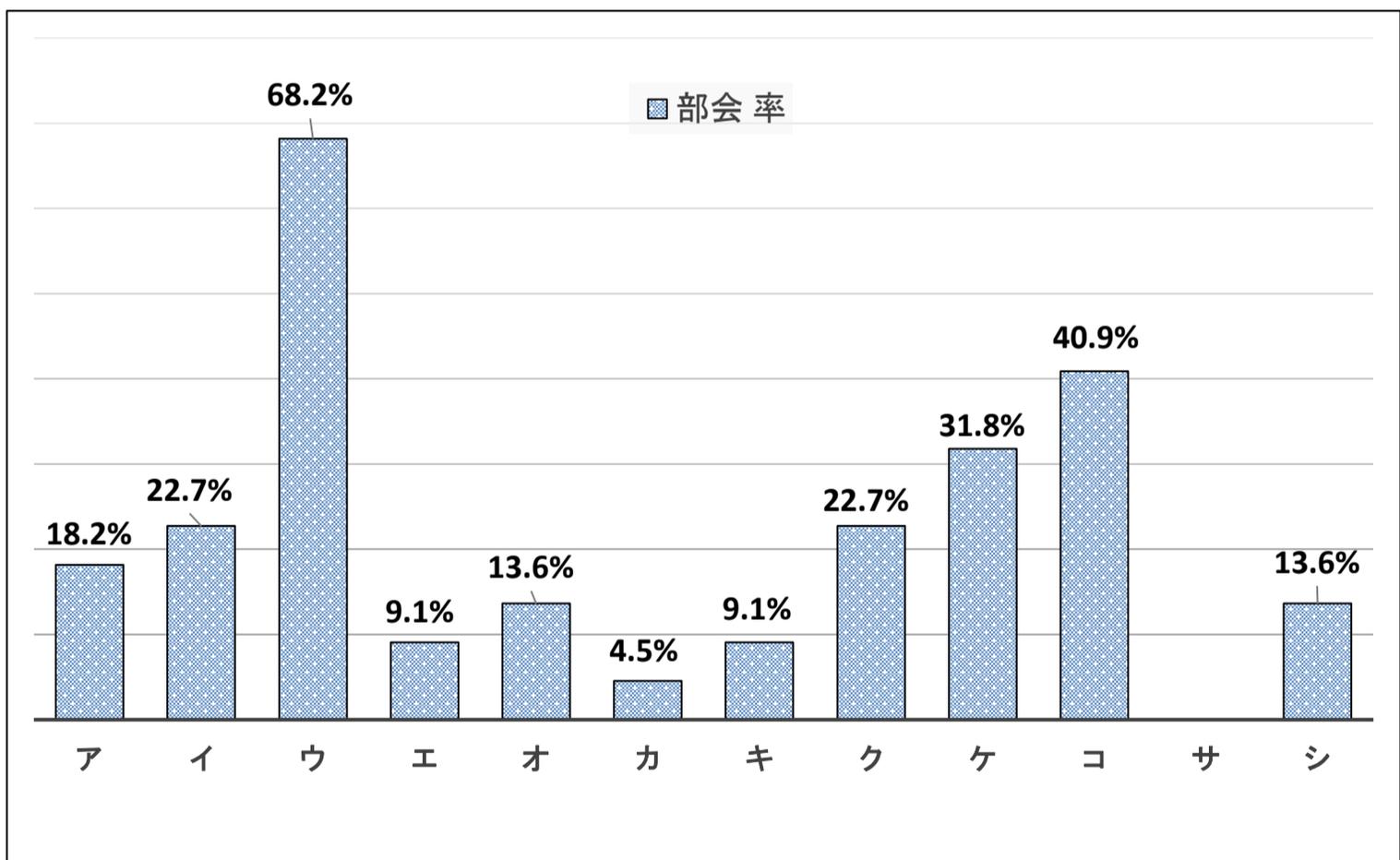
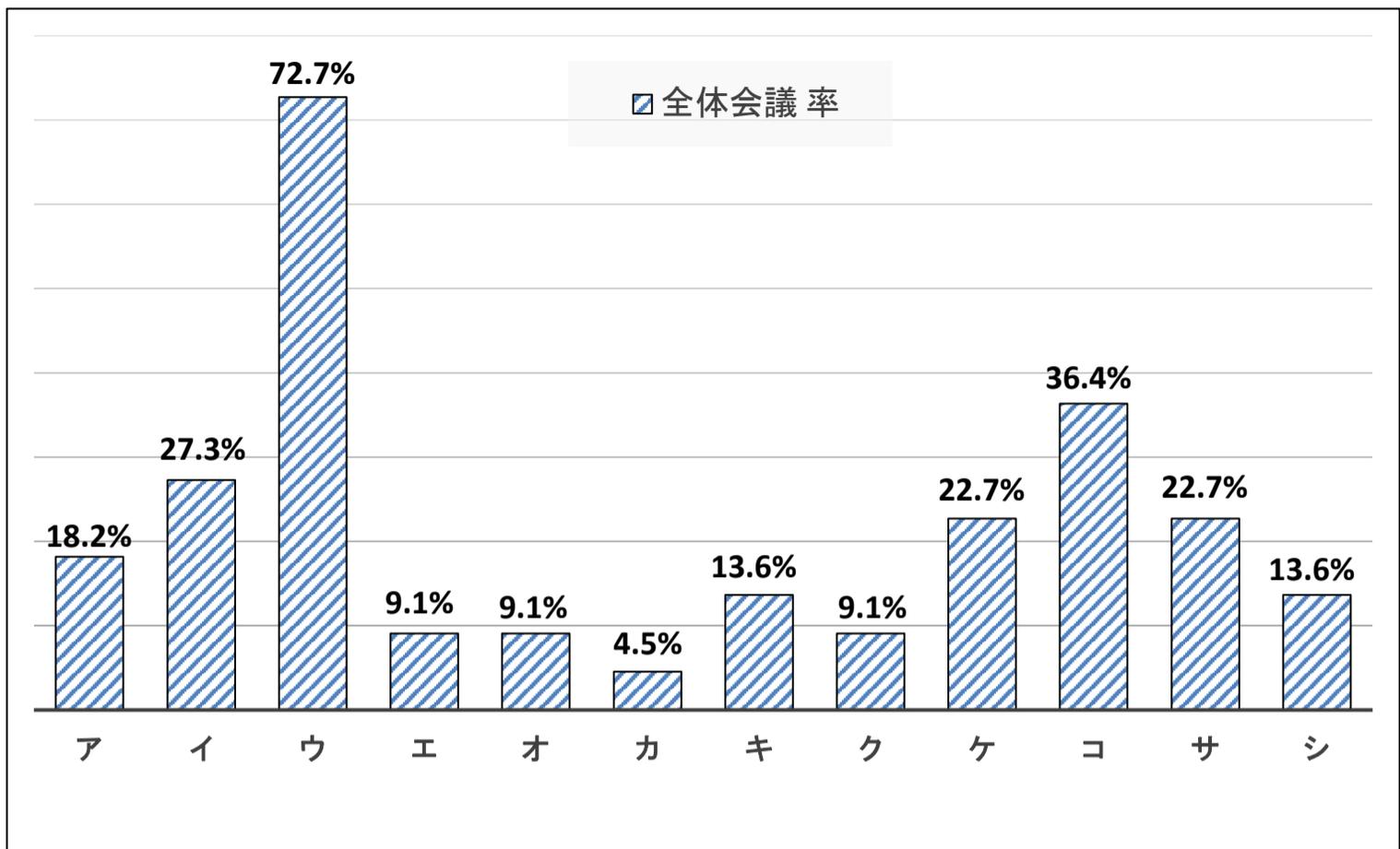
選択肢	全体会議		部会	
	回答者数	率	回答者数	率
ア 会議前に、十分資料を読み込む時間がない。	4	18.2%	4	18.2%
イ 資料が多すぎる、または分かりにくい。	6	27.3%	5	22.7%
ウ 意見を述べるために前提となる区の現状や行政のしくみ等についての知識が不足している。	16	72.7%	15	68.2%
エ 会議中に発言できる機会や時間が少ない。	2	9.1%	2	9.1%
オ 特定の人だけが発言している。	2	9.1%	3	13.6%
カ 意見交換を行いやすい配席になっていない。	1	4.5%	1	4.5%
キ 区役所側の説明が長く、意見交換をする時間が短い。	3	13.6%	2	9.1%
ク 区政会議の開催回数が少ない。	2	9.1%	5	22.7%
ケ 意見を述べても、区役所側から明確な回答が期待できない。	5	22.7%	7	31.8%
コ 意見を述べても、それがどう取り扱われているかが分かりにくく、区政に参画しているという実感が持てない。	8	36.4%	9	40.9%
サ 実質的な議論が部会で行われており、本会議ではその報告が中心となるため、他の部会の議題について意見を述べづ	5	22.7%		
シ その他	3	13.6%	3	13.6%
回答者数計	22		22	

シ：その他の内容（全体会議）

・役所の説明が早口で理解できない
・開催時間が合わない
・大変意義深い会議だと思うので、しっかりと研鑽を積んでいきたいと考えている。

シ：その他の内容（部会）

・区政会議に参加している委員が、会議に不慣れで、資料の理解も浅く、何をどう質問したら良いのか戸惑うことが多かった
・今後とも、種々の課題解決のために検証・積極的な提案をしていきたいと考えている
・開催時間が合わない



※ ご意見が多かったウ「区の現状や行政のしくみ等についての知識が不足している」に対して、令和元年度10月から就任される区政会議委員向けの就任時研修を実施し、説明いたしました。

※ シ「その他」でご意見をいただいた「開催時間が合わない」につきましては、毎回、事前に日程調整をさせていただいておりますが、全員の方のご都合に合う日時がなく、申し訳ございません。

### 3. 上記のような課題について改善を図っていくためには、どのような取組や工夫が必要であると思いますか？

#### (1) 全体会議について

<ul style="list-style-type: none"><li>・議題・課題の絞り込みを行う</li><li>・前もって質問の提出を求める</li></ul>
<p>・防災について、高齢者が多くなり、若い方の活躍を考えてはと思う。中学生または小学生高学年が地域の方と一緒に防災訓練に参加するなどし、防災について意識を持ってもらってはと思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・資料が多すぎて読み込みや頭の中の整理ができない。一度休むと、その傾向はさらに強く、送られてきた資料がぐちゃぐちゃになって、家でゆっくり整理して考えようにも、まとまらない。</li><li>・資料ナンバーがわかりにくいので、通しナンバーをつけて順序立てて考えられるようにしてほしい</li></ul>
<p>・全体会議は、委員に対し、区政の全体像を把握させるために必要ということなのでしょうが、我々委員は区政に携わるわけでもないのに、あまり必要があるとは思われない。委員の中には、全ての項目に知識もあり意見を持っている方もいるかもしれないが、ほとんどの方は、自分の所属している団体から得られた見識や地域での活動から得られた事から意見を言うことから、全体会議の回数を減らし、部会を増やしたらどうか。</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・多種多様な意見が多く、問題点を洗い出し解決策にいけないし、時間がかかりすぎる。専門知識経験者が、参加者・行政側にもいない。問題点をフォーカスできる専門家が必要ではないか。</li></ul>
<p>・区役所以外の機関、消防署、警察などと直接議論できる場設定をするのはどうか。区役所が間に入って意見を聞いているようだが、こちらの意見が正確に伝わっていないし、区政会議が頻繁に開催されるわけではないので、ものすごく時間がかかっている。例えば初期消火における消火栓の利用について2018年7月12日の区政会議で発言しているが、「大阪市でやっていない」とかその理由を確認したり、さらに追加意見を述べてやっと2019年7月29日の区政会議で「水道局は消火栓使用は想定していない。また危険である。」とのことだが横須賀市では市民消防隊を結成して消防署の指導の下、使用訓練をしている。水圧が高いのは最初から分かっている。水道局と消防局と区役所と私たちが同じテーブルで議論していればもっと早く話が進む。話の進め方が回りくどい。最初の回答は「大阪市はやっていない」からとか「防火水槽を整備する」であったが、やっと今回は消防局としては「地域防災に資する内容であり、消防局としては可能な範囲で協力することは可能である。」と回答している。もっと区政会議が効率よく動くように工夫するべきだと思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・推薦母体を意識しての発言は、自由な意見交換ができない。区政会議のテーマを事前に地域活動協議会などで話している訳でも、意見を集約している訳でもない。そこまで望まれているのか。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・勉強会の実施、書類の事前配布等、現行の取り扱いの継続</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・様式を変えられた成果だと思う。資料はわかりやすくなったと思う。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・全体会議で配布される資料には、既に部会での発言が反映されているかもしれないが、意見等による資料の修正・削除の明記がないと、繰り返しの議論になってしまう。他の部会に関わる質問がしにくと感じた。</li><li>・資料には、目的と実施・強力する取組が記載されているので、部会での意見の反映内容、補足説明を役所側からしてもらえれば、具体的な話し合いになると思う。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・区の行事等、勉強不足で資料を見てもわかりにくい事が多い。範囲が広すぎる。</li><li>・学習会も企画してもらっているが、仕事等で参加もなかなかできない。時間帯の工夫が必要。年間の行事等の一覧表などがあればと思う。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・意見・質問に対して、区役所側の説明はわかりにくく、出来ない理由を挙げ、先送りしているように感じたことがあった。可否・時期等、具体的に回答してもらいたい。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・個々が、それぞれ自分の立場で勉強して来なければならないと思う</li><li>・過去の区政会議より、話しやすい工夫がされていると思う</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・全体会議と部会の形式・時間に工夫が必要。例えば、全体会議は今のままの形式として、部会をもっと和やかに話し合えるようにグループ化するか、回数を増やして議論の内容が煮詰まり、具体化するようにする。</li></ul>
<p>・大阪市・各区という二段階構造であること、区が独自に判断し、政策立案し、予算をつけて実行できる権限がほとんどない状態では、市民参加は名ばかり。大阪市が各区の住民代表意見を各区で収集して、市政・区政に反映させるという形でも取らない限り、すでに決定した政策と予算に対して意見を述べても、区役所の職員の方も無駄な仕事に追われて忙しいし、参加している側も虚しい。</p>

## (2) 部会について

<p>・子育て・やさしさ部会と、やわらかい響きであるが、なかなか幅が広くて難しい。中でも、学力向上も大切と思う。課外学習会「旭塾」を利用して向上を図り、また、家庭によって十分身につけていけない人には、放課後で徹底的（納得いくまで）に丁寧に教えていけるよう、努力してはと思う。</p>
<p>・いろいろ工夫はされていると思うが、私たち委員が現状を知るべきではないかと思う</p> <p>・意見は活発になされているとは思いますが、その意見が果たして区政に役に立っているか否かはわからない</p>
<p>・部会の開催を毎月にする。区役所の方は、全員でなくとも、関係部署だけにする。もっと自由討論しながら、具体案を考えるようにする。懇談会（懇親会）を開く（自由参加・会費制）。</p>
<p>・大阪市・各区という二段階構造であること、区が独自に判断し、政策立案し、予算をつけて実行できる権限がほとんどない状態では、市民参加は名ばかり。大阪市が各区の住民代表意見を各区で収集して、市政・区政に反映させるという形でも取らない限り、すでに決定した政策と予算に対して意見を述べても、区役所の職員の方も無駄な仕事に追われて忙しいし、参加している側も虚しい。</p>
<p>・資料に関しては、随分わかりやすくなったと思う</p>
<p>・資料は簡潔になっているが、戦略・取組で「用語」として分かりにくいものがある（自分で調べている）</p>
<p>・区政会議の委員の選出方法に、世代別（10歳代～40歳代）や、自営業、サラリーマン、男女という参加をお願いする方法も考えたらどうか</p> <p>・今までの議題の検討といった項目以外に、1～2分程度のフリートークの時間を入れてもらったらどうか（所属団体の長所・短所・誇りにしたいこと・嬉しいこと・悲しいこと・夢など）</p>
<p>・部会全体での話し合いでなく、それぞれ委員の関心のあるセクションに分かれて、少人数で話し合いをしたら、必要な資料も見えてくるし、発展性も出てくると思う</p>
<p>・子ども達の教育・生活・子育て、そのバックアップ、また、高齢者の対応、障がい者のサポート。必要な支援はたくさんある。個々に課題を挙げると山のようにあるので、繋がりのある、できる範囲の取組で、どこまで成果を上げられるかを考える会議をした方が良くと思う</p>
<p>・仕事等で忙しく、なかなか資料を読み取れていない。資料作成に工夫してもらってほしいが、もっとわかりやすい資料にしてほしい。</p> <p>・学習会は、皆が参加しやすい時間帯等を考慮してほしい</p>
<p>・部会開催を増やし、会議のテーマを絞って、活発な意見交換を行うことで、より活性化するのは</p> <p>・意見・質問に対して、区役所側はその採択の可否・時限等、具体的に回答してほしい</p>
<p>・勉強会の実施・書類の事前配布等、現行の取り扱いの継続</p>
<p>・意見を述べるにも、区役所の行政の仕組みその他の知識が知られていない</p>
<p>・ある議題について、誰かが意見を言って区役所側の返答があり、それだけで終わってしまうことが多いようである。時間の制約もあり、上辺だけのやり取りで終わっているようである。他の委員もそれに対し意見を言い、また、区役所側の方も入って、色々な意見のやり取りを繰り返さないと、意見の深まりが出てこないと思われる。今はそれだけの時間がないと思われる。その日に出た意見のいくつかについて、後日、討論のやり直しをやるような部会もあっていいのではないのでしょうか。</p>
<p>・出席者のレベルが違い過ぎる</p> <p>・課題解決のテーマを絞り込む必要がある</p> <p>・実質的な論議が出席者が多すぎることから、結論までいかない</p> <p>・司会者が全員に発言してもらうことがネック</p>
<p>・「特定課題についての勉強会を開催」とあるが、これは旭区では実施されていない。旭区は講義型2回、講演会1回とあるが、これはかなり概略的で、しかも平日昼間に実施されていたと記憶している。課題ももっと掘り下げたり、関係部局との調整が必要な場合、その場に呼んでいっしょに議論すべきと思う。</p>

※ 改善策等としていただいたご意見（4～5ページ）のうち、複数いただいたご意見について

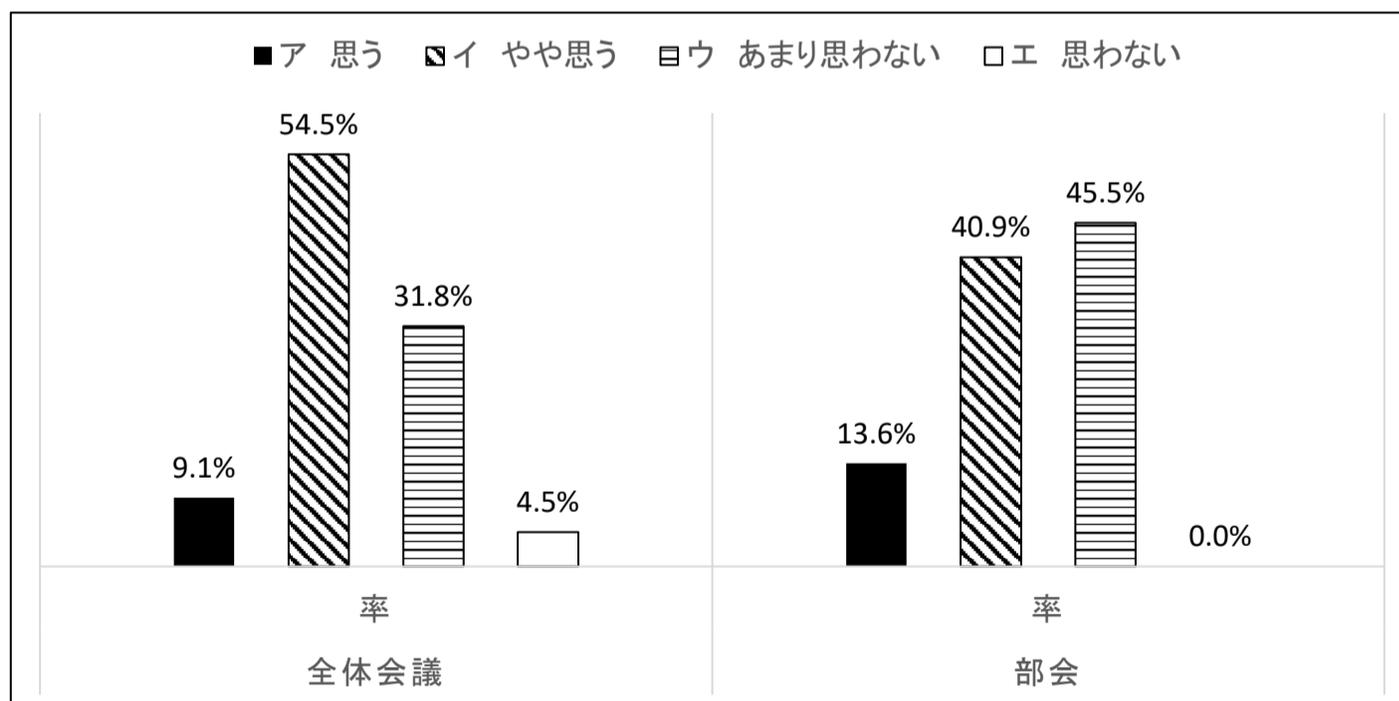
・会議資料については、以前よりわかりやすくなったというご意見を複数いただき、見やすい資料作成に向けての改善が評価されていますが、以前としてわかりにくというご意見もいただいております。今後とも、わかりやすい資料づくりに努めたいと思います。委員の皆さま方からも、具体的な改善策などがありましたら、お知恵をいただきますよう、お願いいたします。

・より議論を深めるため、部会の開催回数を増やしたり、区政会議とは別での関係機関等との会議開催や、部会をさらに細分化した少人数の話し合いの開催等のご意見をいただきました。委員の皆さまのご負担とならないよう、今後の会議内容を精査のうえ、検討してまいります。

・専門的知識を持つ有識者の会議への参加についてのご意見をいただきました。今後の会議の議論内容も踏まえ、必要に応じて調整してまいります。

4. 旭区区政会議において、意見や要望、評価について、適切にフィードバックがおこなわれていると思いますか？

選択肢	全体会議		部会	
	回答者数	率	回答者数	率
ア 思う	2	9.1%	3	13.6%
イ やや思う	12	54.5%	9	40.9%
ウ あまり思わない	7	31.8%	10	45.5%
エ 思わない	1	4.5%	0	0.0%
計	22	100.0%	22	100.0%



※ 全体会議では63.6%、部会では54.5%の方から、肯定的意見をいただきました。

※ それぞれの評価に対する理由については、8～9ページに記載しています。

5. 4について、なぜそのように思いましたか？○をつけた理由をお答えください。

(1) 全体会議について

「ア 思う」に対するご意見

・課題ごとに、区の担当者から回答が得られていると思う
・フィードバックに配慮が良くなされていると思う

「イ やや思う」に対するご意見

・計画どおり実施され、統括されているとは言い難いが、区政会議で論議して少しでもフィードバックするべく努力している
・資料作り・区役所の会議参加者への姿勢への努力が感じられる
・発言したことに対するフィードバックはだいたいあったと思う
・会議及び追加書面にて、適宜実施されている
・ある程度、反映されているように感じた。
・会議資料についての要望等に対応され、読み易くなるなど、改善されている
・活発な意見等、述べているように思う

「ウ あまり思わない」に対するご意見

・すぐにフィードバックを考えるのは無理とは思いますが、いずれは反映されると良いと思う
・全体的に、抽象的な内容が多く、具体的な成果は見えにくいと思う。もっとポイントを絞っていただけたらと思う。
・会議そのものが意味があるように思えない
・前年と何がどう変わったのか、分かりづらい
・大阪市・各区という二段階構造であること、区が独自に判断し、政策立案し、予算をつけて実行できる権限がほとんどない状態では、市民参加は名ばかり。大阪市が各区の住民代表意見を各区で収集して、市政・区政に反映させるという形でも取らない限り、すでに決定した政策と予算に対して意見を述べても、区役所の職員の方も無駄な仕事に追われて忙しいし、参加している側も虚しい。

「エ 思わない」に対するご意見

・区役所以外の機関、消防署、警察などと直接議論できる場設定をするのはどうか。区役所が間に入って意見を聞いているようだが、こちらの意見が正確に伝わっていないし、区政会議が頻繁に開催されるわけではないので、ものすごく時間がかかっている。例えば初期消火における消火栓の利用について2018年7月12日の区政会議で発言しているが、「大阪市でやっていない」とかその理由を確認したり、さらに追加意見を述べてやっと2019年7月29日の区政会議で「水道局は消火栓使用は想定していない。また危険である。」とのことだが横須賀市では市民消防隊を結成して消防署の指導の下、使用訓練をしている。水圧が高いのは最初から分かっている。水道局と消防局と区役所と私たちが同じテーブルで議論していればもっと早く話が進む。話の進め方が回りくどい。最初の回答は「大阪市はやっていない」からとか「防火水槽を整備する」であったが、やっと今回は消防局としては「地域防災に資する内容であり、消防局としては可能な範囲で協力することは可能である。」と回答している。もっと区政会議が効率よく動くように工夫するべきだと思う。
---

## (2) 部会について

### 「ア 思う」に対するご意見

- |                          |
|--------------------------|
| ・委員の意見に真摯に向き合ってもらっていると思う |
| ・区の各部署の担当者から回答が得られていると思う |

### 「イ やや思う」に対するご意見

- |   |
|---|
| ・意見・要望の発言に対して、丁寧に説明されていると思う                               |
| ・意見や要望は、実現が可能なものばかりではないと思う。今後の区政に反映されるように取り組んでもらえているように思う |
| ・区政会議に対する本気度が感じられたから                                      |
| ・皆さんの意見は、それぞれの立場で出ているので、経営課題（取組）に反映されていると思う               |
| ・自由討議の時間を作ってもらったが、まとめ役がいなく、取り止めがなく、あまり有効でないように思った         |
| ・当初、防災＝震災だった意識が、台風・水害・火災等へ広がり、対応を考えるようになってきた              |
| ・会議及び追加書面にて、適宜実施されている                                     |

### 「ウ あまり思わない」に対するご意見

- |   |
|---|
| ・区役所内だけでは決められないことも多くあると思う。教育委員会レベルになると何も変わらない。  |
| ・大阪市・各区という二段階構造であること、区が独自に判断し、政策立案し、予算をつけて実行できる権限がほとんどない状態では、市民参加は名ばかり。大阪市が各区の住民代表意見を各区で収集して、市政・区政に反映させるという形でも取らない限り、すでに決定した政策と予算に対して意見を述べても、区役所の職員の方も無駄な仕事に追われて忙しいし、参加している側も虚しい。   |
| ・テーマが漠然としている  |
| ・町会の意見や発言が主体になって、各種団体からの参加の意味を感じられない  |
| ・すぐには反映するとは思いますが、少し遅れてでも必ず反映すると思う   |
| ・多角的な論議をしているようで、出席者もその場の思い付きの意見でポイントからはずれていても、全ての意見を集約しようとして、結果的に総花的になっている。   |
| ・初期消火における消火栓の利用について2018年7月12日の区政会議で発言しているが、「大阪市でやっていない」とかその理由を確認したり、さらに追加意見を述べてやっと2019年7月29日の区政会議で「水道局は消火栓使用は想定していない。また危険である。」とのことだが横須賀市では市民消防隊を結成して消防署の指導の下、使用訓練をしている。水圧が高いのは最初から分かっている。水道局と消防局と区役所と私たちが同じテーブルで議論していればもっと早く話が進む。話の進め方が回りくどい。最初の回答は「大阪市はやっていない」からとか「防火水槽を整備する」であったが、やっと今回は消防局としては「地域防災に資する内容であり、消防局としては可能な範囲で協力することは可能である。」と回答している。もっと区政会議が効率よく動くように工夫するべきだと思う。 |

### 「エ 思わない」に対するご意見

- ・「エ 思わない」の評価はありませんでした。

## 6. その他ご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

### (1) 全体会議について

<ul style="list-style-type: none"><li>・城北川の活用についての議論がほしい（鮎の遡上等の明るい話題がありそう）</li><li>・遊歩道の自転車走行の可能性を考える</li><li>・城北公園の年中通しての活用。昆虫生態・植物の育成の場所づくり</li><li>・旭区のメインストリートである柳通りという何かモニュメントを残してほしい</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・どの部会に所属するか、本人の希望を聞いてほしかった</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・会議の中で、ある委員が「目の前の事ばかりの議論が多すぎるのではないか、もう少し先の事について考え議論したらどうか」と言われたが、非常に良いことを言われたと思う。当年度のことは進行中のため、止めたり変更したりは無理でしょうから、3～5年先のことを議論するのが、委員側も区役所側にとっても良いのではないか。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・委員構成は、団体推薦と公募の方であるが、団体推薦の方で会議に出席しない方や出席しても発言しない方がいた。一方、公募委員の方々は熱心に発言され、中には非常に専門的な意見があったように思われるが、他の委員の方との意識差・知識差が大きく、大事なテーマの割には一方通行的な会議になっていたと思われた。そのようなテーマは、各専門の窓口で事前に議論し、その経緯・結果を区政会議に報告・提案すれば良いかと思う。</li><li>・経営課題1～4をもって、旭区将来ビジョン2022を策定しているが、現実的な項目で大切なことではあるが、本当の意味での将来ビジョンではないように思われる。2025年万博に向けてのビジョン、5年・10年・15年先の&lt;夢の中・長期ビジョン&gt;も掲げてはどうでしょうか。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・もっと区政会議を発展させる発想が必要ではないか</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・自由に発言できる空気がないように思う</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・何回か出席したが、区政会議の内容に疑問を持った</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活動協議会の行事、何かをやっていけばというように、マンネリ化してきている。関わっている方々も同じメンバーである。この区政会議も、もっと若いメンバーに入ってもらえると良いのだが。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・区政会議の存在意義・目的等のPRをしてもらいたい</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・委員選出にあたり、議事内容を深めるために、深い関心と知識を持っている人材の選出方法を検討されたい</li><li>・区政会議資料作成の具体案の苦勞を感じる</li><li>・欠席者の多いのが気になる。改革が望めるのか疑問に思う。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・障がい者の面倒を見ているため、社会福祉協議会の方に、後見人のことに対していろいろ話をすると、きめ細やかな説明を受けて、大変安心して、これからも継続して接していけるようになった</li></ul>

## (2) 部会について

<ul style="list-style-type: none"><li>・子育て・やさしさ部会に対して、範囲が広く、説明されても頭の中で想像して、実際はよくわからない。これからは、いろいろな行事に参加し、体験し、覚えていきたいと思う</li><li>・物産店も開いてもらえたらと思う</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・会議について、否定的発言に対しては、区政会議での意見がどこまで生かすことができるのかをしっかりと答えてほしい</li><li>・選挙で選ばれている訳でもなく、住民の代表でもないと思うのだが</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・大阪市役所から旭区他、城東区、鶴見区、大阪北東部に対しての見方が、どのようなものであり、どのように進めようとしているのか、都構想も含め、わかる部分で聞かせてほしい</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・区民に対するアンケートは、地域・年齢層が偏っているので、残念だと思う</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・「こども食堂」が現状、どのような運営になっているのか知りたい。また、開設して、どのような成果があったのかを知りたい。少数でも目的が達成できなければ、スイッチする必要があると思う。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・区政会議資料作成の具体案に苦勞を感じる</li><li>・委員選出にあたり、議事内容を高めるために深い関心と知識を持っている人材の選出方法を検討されたい</li><li>・欠席者が多いのが気になる</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・防犯・防災に関して特に思うのは、関わっている方々はほとんど各町会の役員で、一般の方にはわからない事が多い。会議の話で知ることがほとんどである。各町会での広報の仕方に問題があるのでしょうか。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・区政会議の存在意義・目的等のPRが必要</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・活力、安心安全、それぞれに対し見識の差がありすぎ。テーマを絞ったらどうか。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・会議の中で、ある委員が「目の前の事ばかりの議論が多すぎるのではないか、もう少し先の事について考え議論したらどうか」と言われたが、非常に良いことを言われたと思う。当年度のことは進行中のため、止めたり変更したりは無理でしょうから、3～5年先のことを議論するのが、委員側も区役所側にとっても良いのではないか。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・区政会議という枠にとらわれずに、もっと発展した形で運営していったほしい。</li><li>・通常の区政会議以外の形での会合を増やすのはどうか。</li></ul>